

■ その他の配慮や工夫 障がい者が「あってよかった」と思った配慮や工夫

一人歩きしているときの道案内や危険な場所の声かけが助かっている。	視覚障がい
近所の住民が手話の学習を始め、近所付き合いができるようになった。	聴覚障がい
啓発活動パレードで商店街を歩いたときに、自転車置場の係の方が「私たち健常者は何をしたらいいの？」ときいてくれて嬉しかった。	肢体不自由
地域の子どもまつりなど出店やゲームで待つとき、足型をおいて、待つ場所を表示してくれて助かった。	知的障がい
免許取得、更新時に優先して処理してくれるのでありがたい。	肢体不自由
公的な会議の初回の会議等、緊張する場で、顔なじみのサポーターをつけることができた。おかげで、会議に出席し、意見を述べることもできた。	精神障がい
片付ける力がない日が続いたときは、ごみの袋入れを手伝ってもらい、袋ごと捨ててもらえる。 部屋の服や雑誌類、ベランダに置いてある袋や鉢、不用品類の片付けは、他の人がいると進む。	精神障がい